

検査部だより

第24号 平成30年4月

○今月は便検査についてお話させていただきます。



便検査でどんな事がわかるの？

日常生活ではあまり注目される機会は少ないと思いますが、基本的に便は私たちの体から自然に排出されるので採血の様に痛みが伴いません。加えて、便潜血・寄生虫・微生物などの検査で普段見えない体内の状態がわかります。

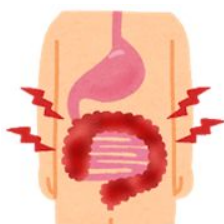


便の潜血検査とは？

便潜血検査とは、便の中に含まれる血液を調べる検査です。簡単に検査でき、腫瘍や小さな傷からの非常に少ない血液でも見つけれられるので、便潜血検査が陽性になった場合は消化管の炎症やがんの存在が疑われます。

詳しく検査すれば早期発見・治療に繋がる可能性の有る重要な検査です。

大腸がんは年間 約6万人！ 早期発見・早期治療が大切です。



炎症・がん



大腸内視鏡検査



便の寄生虫検査とは？

寄生虫検査とは、寄生虫が消化管などに寄生している場合に、便に出てくる虫体とその卵を調べる検査です。国内では昔にくらべて衛生環境が良くなり、件数がかかなり減少した検査です。しかし、衛生環境の悪い場所への滞在や、
飲食物を介しての寄生虫感染が疑われる場合には特に重要な検査です。



寄生虫の種類がとても多様で、検査方法も多岐にわたるので患者さまからの情報提供（症状・渡航歴・食物・飼育動物など）が重要といえる検査です。



便の微生物検査とは？

便の微生物検査とは、便の中の細菌やウイルス等を調べる検査です。食中毒などの原因を調べるのが便の微生物検査の主な目的であり、細菌やウイルス
についての検査を行います。どの微生物に感染したかで治療方法が大きく異なるため、寄生虫と同じく患者さまからの情報提供がとても重要な検査です。

